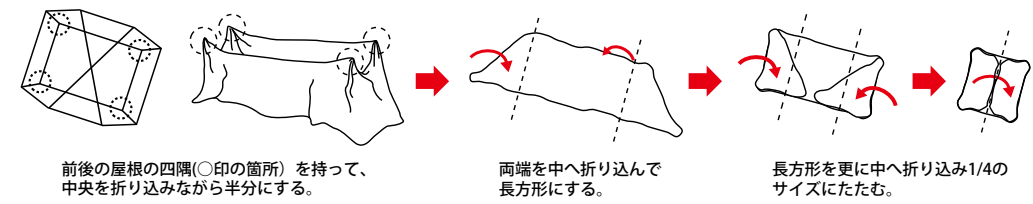


Model 2000017191

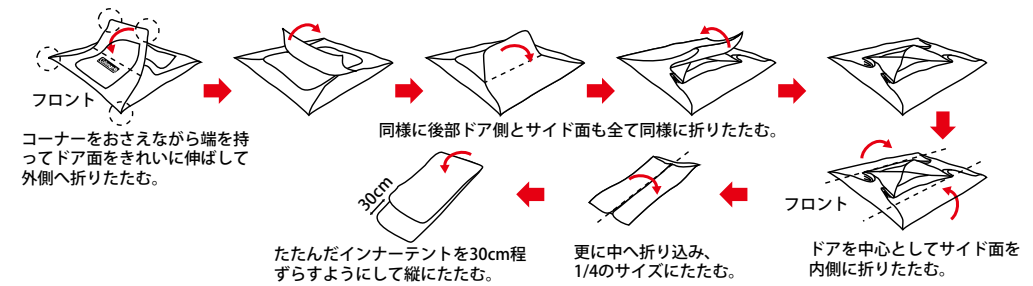
## 撤収手順

**STEP 1** フライシートを固定したペグ、ロープ・内側のベルクロをすべて外して、フライシートを取り外し、下図のようにしてたたみます。

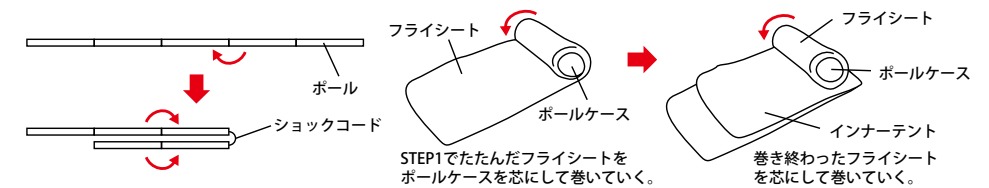
**注意** テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



**STEP 2** インナーテントを取り外し、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けてから四隅をきれいに広げ、四角形になった状態で下図のようにたたみます。



**STEP 3** ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



**注意** ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

# WINDS LIGHT DOME /W270

[ウインズライトドーム /W270]

## 取扱い・組立て説明書

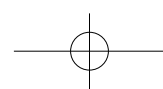


コールマンジャパン株式会社

お問い合わせ先  
コールマンカスタマーサービス：0120-111-957  
受付時間：月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。



## 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的に2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

## 収納・管理の注意

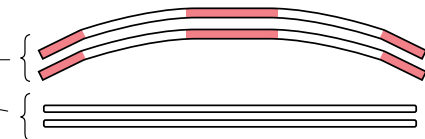
**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納すると腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

## 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- フライシート 1張
- インナーテント 1張
- メインポールセット (シルバー/オレンジ) 2本
- リッジポール (シルバー) 2枚
- 自在ロープ 6本
- アルミペグ 16本



### インナーテント設置時



### フライシート装着時

[フロント側]



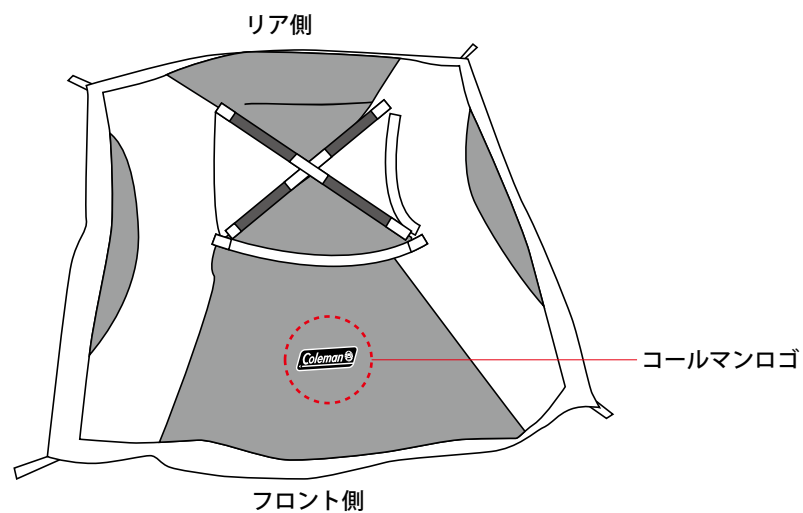
[バック側]



# 設 営 手 順

## I インナーテントを広げます

**STEP 1** インナーテントを広げます。  
メッシュドアにコールマンロゴのあるほうがフロント側になります。  
空気が入りやすいように、あらかじめ前後のドアのファスナーを一部開けておきます。



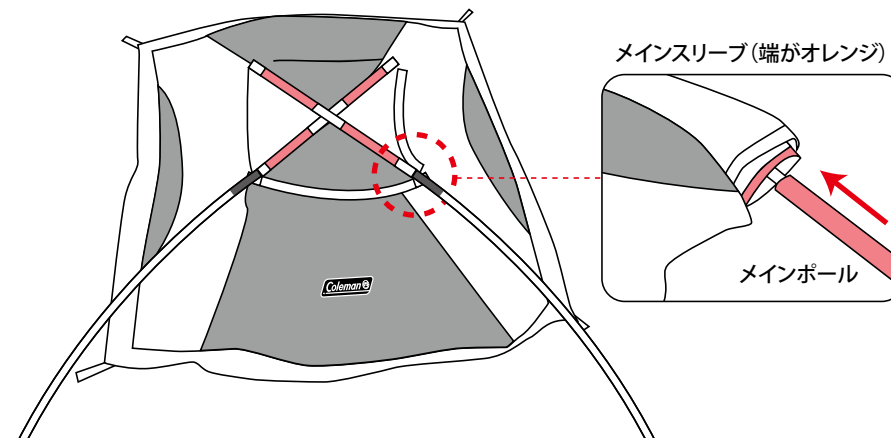
## II メインポールをセットする

**STEP 2** メインポールセット (シルバー/オレンジ) 2本を伸ばします。



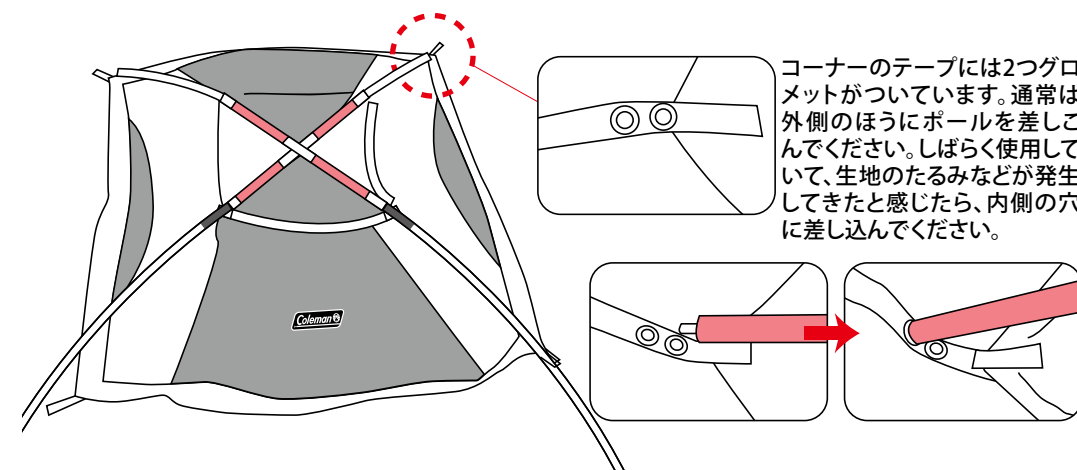
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 3** ルーフポール (シルバー/オレンジ) をメインスリーブに通します。メインポールセットには向きがあります。端がゴールドのほうがフロント側になります。



**注意** スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

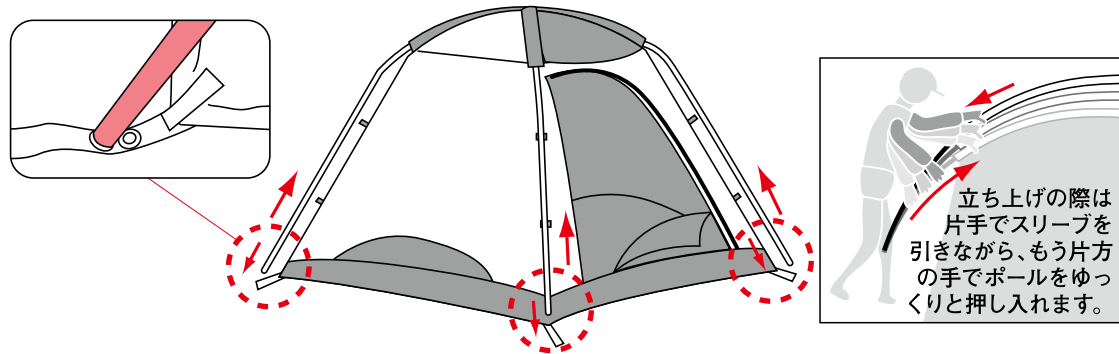
**STEP 4** メインポール2本のリア側の端を、インナーテントのコーナーにあるループ (ブラック) についでいるグロメットにそれぞれ差し込みます。



**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

## STEP 5

フロント側のスリーブの端を持ち、メインポール2本をそれぞれ押し入れながら、インナーテントを立ち上げます。  
立ち上がった後、メインポール2本の端を、インナーテントのコーナーにあるループについているグロメットにそれぞれ差し込みます。



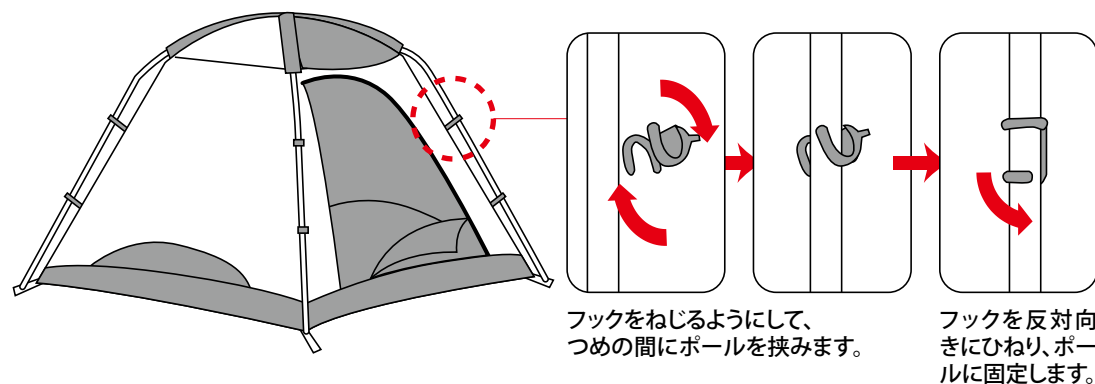
**注意** メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。

**注意** 立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。

**注意** スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり生地が破れたりします。

## STEP 6

インナーテントについているフックをメインポールにかけ固定します。

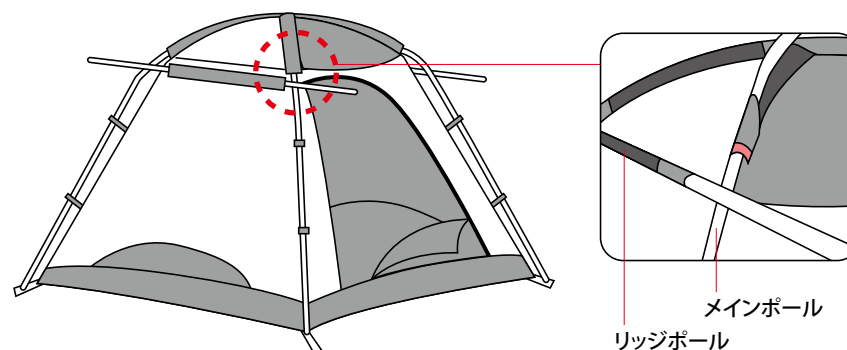


## III リッジポールをセットする

**STEP 7** リッジポール(2本)を伸ばします。

**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 8** リッジポールをスリーブに通します。  
この時、リッジポールはメインポールの外側になります。



## IV 設営位置を決め固定する

**STEP 9** 前後のファスナーを全て閉めます。

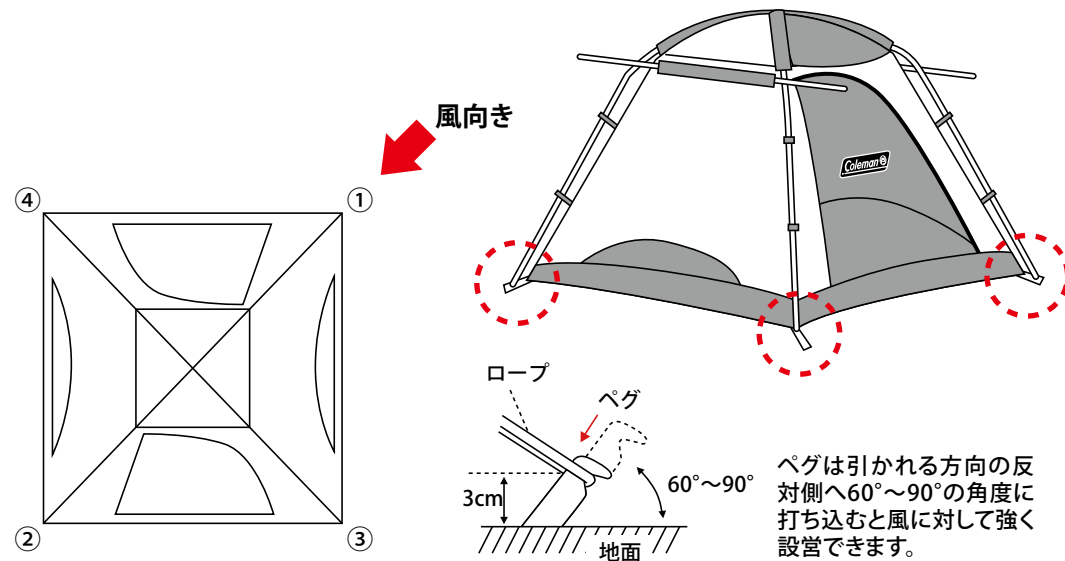


**注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。



## V 設営位置を決め固定する

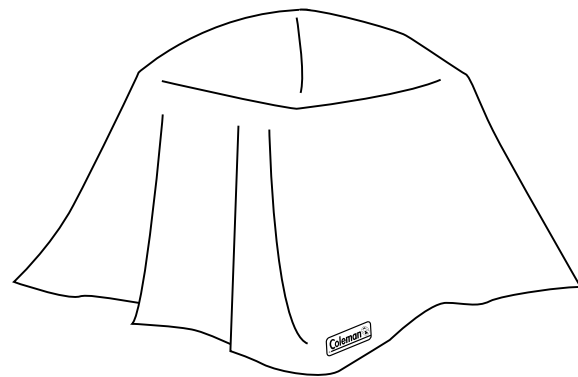
**STEP 10** 設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より(①~④)の順に対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



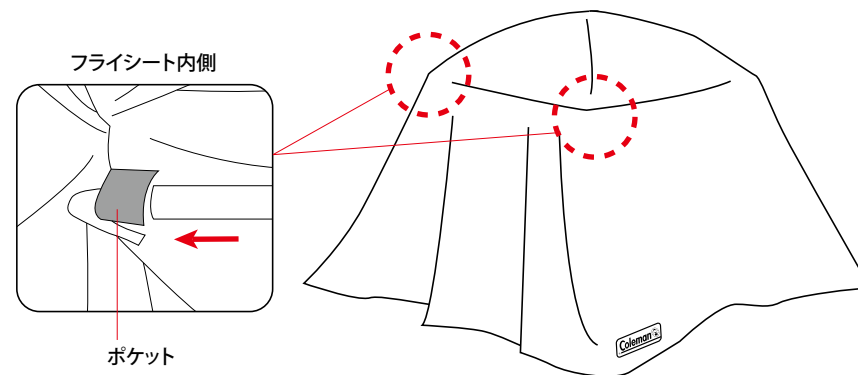
**注意** フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

## VI フライシートをかぶせる

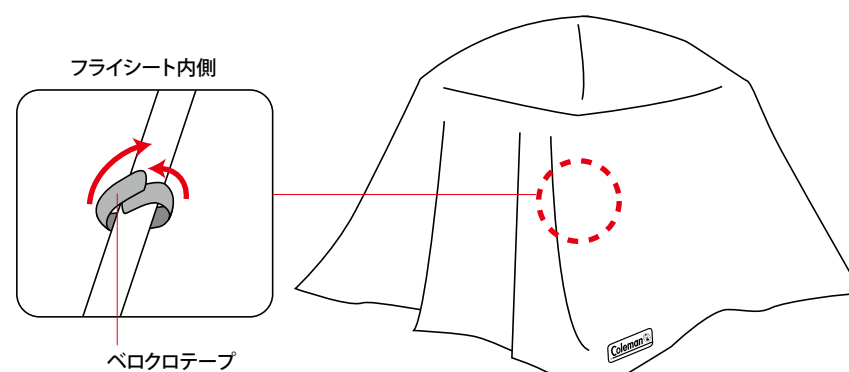
**STEP 11** フライシートをかぶせます。



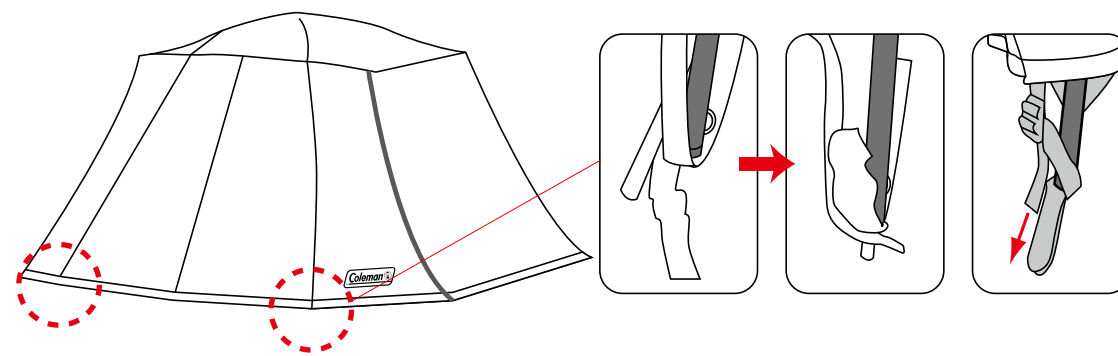
**STEP 12** フライシート内側のポケットにリッジポールを差し込み固定します。



**STEP 13** フライシート内側にあるベルクロテープをそれぞれのポールにとめて固定します。



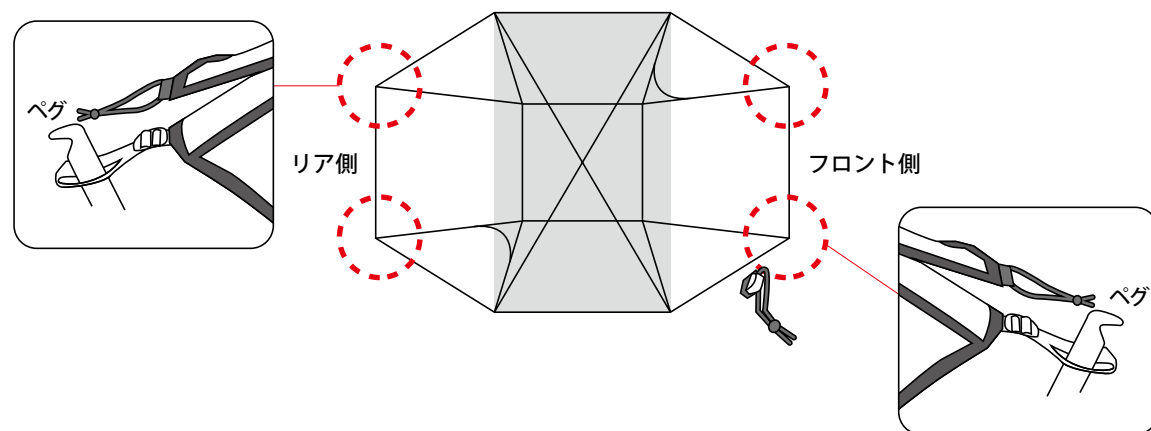
**STEP 14** フライシート端のテープについているグロメットを、インナーテントのメインポールの先端に差し込みます。各コーナーのテープを引き、フライシートのたるみを取って張り具合を調節します。



**注意** テープを引きすぎないように注意してください。フライシートが破損するおそれがあります。

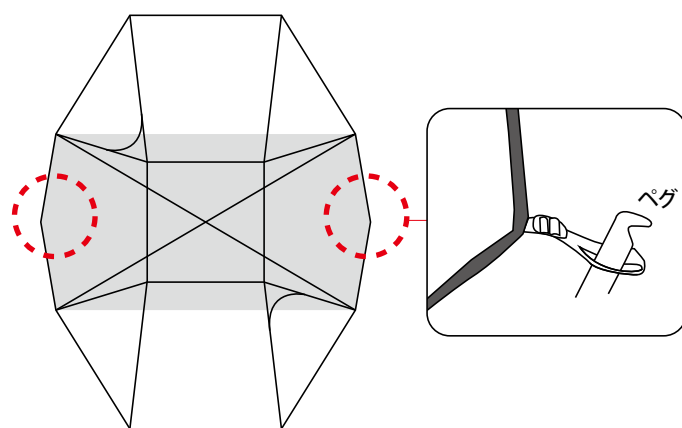
## VII ペグで固定する

**STEP 15** フロント、リア側のループを張り出し、ペグで固定します。



**注意** ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

**STEP 16** サイド(A・A')のループを外側に引っ張り、インナーテントから十分離れたところで、ペグで固定します。外気の取入口となります。

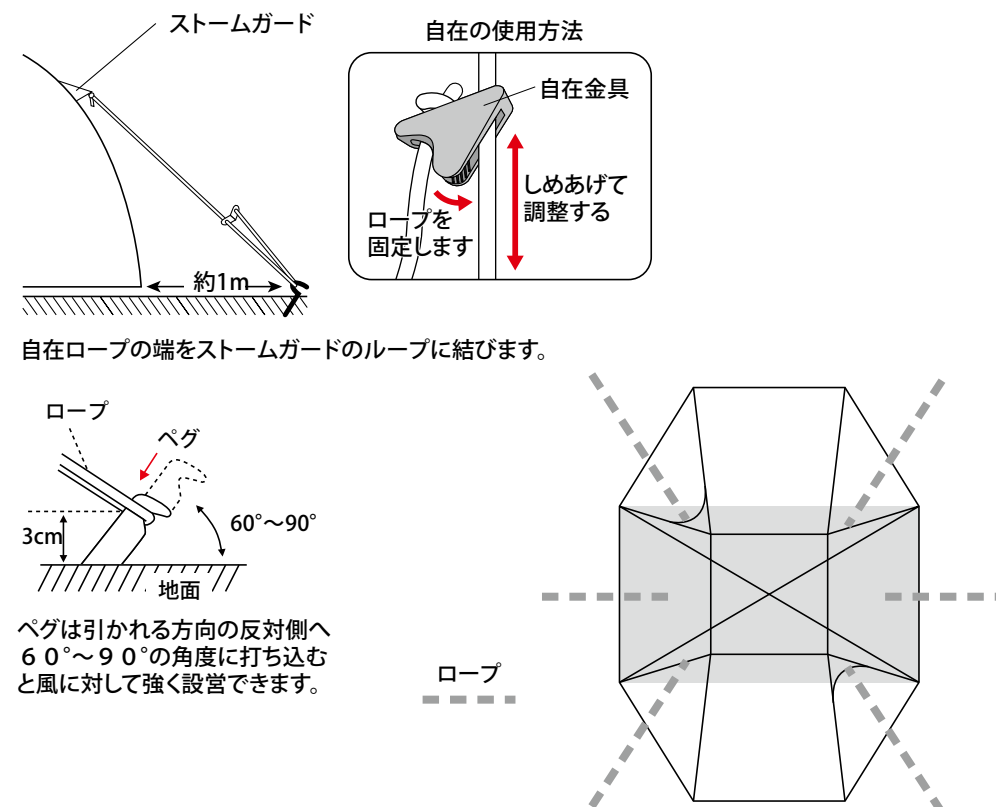


**注意** フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。センターループ、ストームガードを張り、フライシートとインナーテントの間に空間を作るように、必ずご活用ください。

**注意**引っ張りすぎに注意してください。フライシートに負担がかかり破損する可能性があります。

## VIII ロープを張り固定する

**STEP 17** ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。図のようにペグで固定します。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。

ペグは引かれる方向の反対側へ  $60^{\circ} \sim 90^{\circ}$  の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

上図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないように調節してください。

**注意** ドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。